

復興支援活動の記録

- ・鍼灸マッサージボランティア「大根プロジェクト参加」
- ・平成24年10月21日・22日 岩手県陸前高田市
- ・報告者 陽だまり‘はり・きゅう’治療室 中野朋儀

「奇跡の一本松」 保存事業をおこなっています



白砂青松の風景が広がる高田松原は、陸前高田市の象徴でした。しかし、約7万本と言われた松は、今回の津波によりただ1本が残るだけとなり、その「奇跡の一本松」も、海水等による傷みが大きく、今年5月、枯死が確認されました。

震災直後から市民の心の支えであった一本松は、全世界でも報道され、復興のシンボルとして親しまれてきました。市では、大震災による多くの犠牲者を追悼、鎮魂するため、そして大震災の脅威と教訓を後世に伝承するために、その一本松をモニュメントとして保存することとしました。

保存にあたっては、一本松の現物をできるだけ現状に近い姿で、元の場所に自立させる方針です。現在、県外の工場で保存処理をおこなっており、被災2周年となる来年3月11日までは戻ってくる予定です。

これほどの高さの樹木を自立保存させた事業は他に例がなく、保存作業は日本の最先端の技術を世界に示すプロジェクトとなります。

「奇跡の一本松保存募金」を行っています

【455ち】（口座番号）02390-9-12701

（名義）奇跡の一本松保存基金

【振手帳付】（口座番号）岩手銀行高田支店 普通 20518260

（名義）奇跡の一本松保存基金 代表 陸前高田市第一戸別会

※直接持参される方は市役所で受け付けております。

※現金振替やFace bookを使ったクレジット決済も可能です。

陸前高田市

問合せ：都市計画課

0192-54-2111（内線461）

完了予定 平成25年2月末頃



10月21日(日)

- ・活動場所: 横田基幹集落センター
- ・活動時間: 9:30~17:00
- ・活動人数: 4名
- ・施術者数: 新患 19名
再診 7名





陸前高田市の広田湾漁協米崎支所カキ養殖組合(熊谷政之代表)は震災後初のカキ出荷に向け、海藻などの温湯駆除に取り組んでいる。築地市場でも高い評価を受けていた広田湾のカキ。来月にも復興の第一歩となる初出荷が見込まれる。今年は雨が少なかったことや高水温により、身入りが芳しくなく、出荷時期を遅らせ調整。昨年春に仕込んだカキは来月の出荷を見込む。気仙川が注ぎ込む広田湾のカキは「味がよく、身もふっくら」と築地市場で毎年高い評価を受けてきた。熊谷代表(48)は「従来のように出荷できるにはまだ時間がかかるが、生産した物を出荷できる達成感が感じられそうだ」と出荷に向け準備を急ぐ。



**【写真＝震災後の初出荷に向け、
湯駆除作業に励む生産者】**
(岩手日報2012/10/17)

10月22日(月)

陸前高田市広田町大久保第2仮設団地



仮設住宅132戸



広田水産高校グラウンドから
大野湾の眺望



仮設住宅集会所



仮設住宅



10月22日(月)

・活動場所:

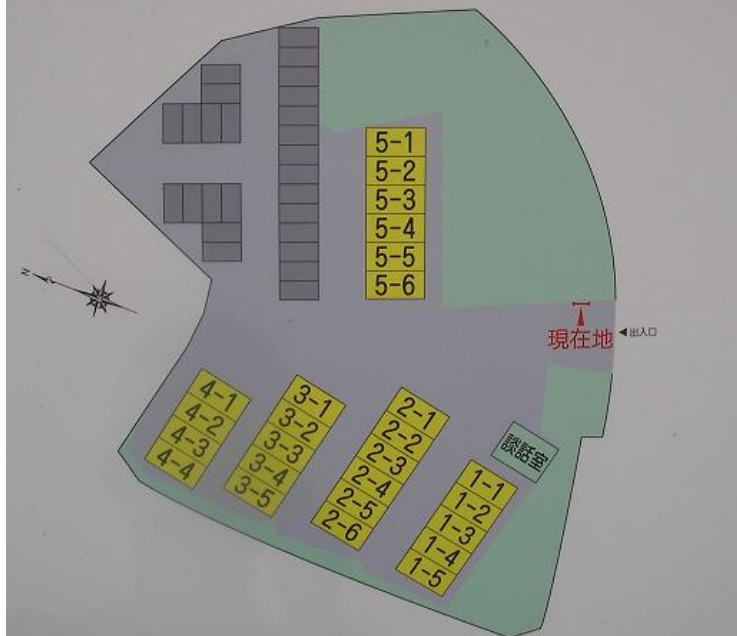
広田町大久保第二仮設団地

・活動時間: 9:00~13:00

・活動人数: 2名

・施術者数: 新患 15名

陸前高田市広田町長洞仮設団地



仮設住宅26戸

10月22日(月)



高台の住宅地に仮設住宅があります。



各お宅の表札が
お洒落な木製です。



仮設住宅談話室



6月22日(月)

・活動場所:

広田町長洞仮設団地

・活動時間: 13:30~15:30

・活動人数: 2名

・施術者数: 新患 8名